

平成30年度 芸術科（書道）

| | | | | | | | |
|-------|---------------|----|------|-----|------|----|------|
| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道 I | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 1 年次 |
| 使用教科書 | 「書道 I」 (教育出版) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
- ・漢字や平仮名の成り立ちを学び、楷書体や行書体、仮名を学習し、自分らしい表現を身に付けましょう。
- ・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a:書への 関心・意欲・態度 | b:書表現の 構想と工夫 | c:創造的な書表現の 技能 | d:鑑賞の能力 |
|--|---|--|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評 価 方 法 | 観察 レポート プリント | 観察 レポート ワークシート 提出作品 | 観察 レポート ワークシート 提出作品 | 観察 レポート ワークシート 提出作品 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4 学習の活動

| 月 | 題材名 | 学習内容・活動 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|----------|--|--|---------|---|---|---|--|------------------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4 5 | 「楷書の学習」 ・牛橛造像記 ・九成宮醜泉銘 ・孔子廟堂碑 | ・書写と書道の違い ・道具の特性 ・名前の練習 ・古典の臨書 ・向勢・背勢等の特徴 ・半切作品等の制作 | ○ | | | ○ | a: 古典の美しさと表現技法に関心を持ち、意欲的に身に付けようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。 | 観察 ワークシート 提出作品 |
| 6 7 | 「篆刻」 | ・布字章法 ・印刀の使い方 ・押印の効果 | ○ | ○ | | | a: 篆刻に興味を持ち意欲的に取り組んでいる。 b: 篆書の特徴を生かして、草稿、印稿、運刀などができるように、工夫している。 c: 篆刻の準備と手順を理解し、刻すことができる。 d: 落款と雅印の意味とその役割について理解している。 | 観察 レポート ワークシート 提出作品 |
| 9 10 | 「行書の学習」 ・蘭亭序 ・風信帖 | ・行書体の特徴(楷書との違い) ・用筆法 ・蘭亭序、風信帖 ・名前の練習 | ○ | | ○ | ○ | a: 古典の美しさと表現技法に関心を持ち、意欲的に身に付けようとしている。 b: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c: 各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d: 様々な行書を鑑賞し、書風の違いについて理解している。 | 観察 ワークシート 提出作品 |
| 11 12 | 「漢字仮名交じりの書」 ・漢字仮名交じりの書の表現 ・カレンダー作品 | ・漢字仮名交じりの書の表現 ・言葉を大切にすること ・線の太細、墨の潤濁、構成等の工夫 | | ○ | | ○ | a: 漢字仮名交じりの書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b: 紙面構成や文字の造形などを様々な工夫している。 c: 効果的に表現するため、線の太細や字形の変化、行の長さや行間を工夫して表現することができる。 d: 書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、表現の幅広さを感じている。 | 観察 レポート ワークシート 提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|--------------------------------|----------------------|---|--|---|---|---|----------------------|
| 1 | 「仮名の 学習」 | ・仮名の書の成立 ・いろは歌、字源 | ○ | | ○ | ○ | a: 仮名の用具用材や基本用筆に関心を持っている。 b: 散らし書きの美しさについて理解し、構成を工夫している。 c: 仮名の用筆やリズムについて理解し、筆の弾力を活かし文字や連綿を書くことができる。 d: 線の太細や墨の潤滑、運筆の速度の変化や連綿、場面構成などの仮名の書の美を構成する要素を理解し、味わっている。 | 観察 ワークシート 提出作品 |
| 2 | ・仮名の 基本 ・いろは 歌 ・連綿 | ・単体から連綿 ・散らし書き | | | | | | |

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度 b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。